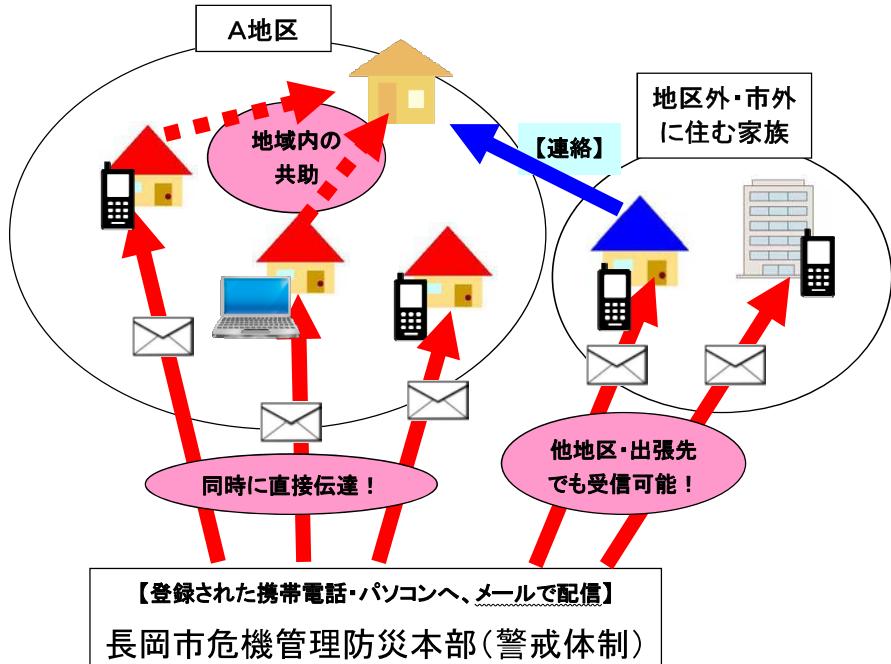


【ながおか土砂災害Dメールの概要】

長岡市からの土砂災害に関する情報伝達方法として、新たに住民へのメール配信サービスを始めます。
このメールを、「ながおか土砂災害Dメール」と呼びます。

どんなふうにメールが送られてくるの？



1 受信確認を確実に行ってください

このメールサービスには受信確認機能がついています。確実に伝わったことを確認するために、必ず受信確認を行ってください。

2 毎月、試験配信を実施します

平成26年4月1日以降、毎月1日の正午にテストメールを配信します。

3 届かなかつた場合は…

メールが届かなかつた場合は、危機管理防災本部または各支所地域振興課にご連絡ください。

4 配信を停止する場合は…

登録後、メール配信の停止をご希望される場合は、危機管理防災本部または各支所地域振興課にご連絡ください。

ほかのメールとは何が違うの？

【配信内容】

- 気象に関する情報
・今後の気象見込み情報
(急激な降雨情報など)
- ・大雨警報(土砂災害)
・土砂災害警戒情報など
- 避難に関する情報
・身を守る呼びかけ情報
(土砂崩れの発見など)
- ・避難準備情報
・避難勧告
・避難指示

【特色】

- 特定の地域・登録者へ情報を直接伝達！
これまでよりも早めの情報提供も可能！
- 必要な方(登録者)へ、一斉に伝達が可能！
- 地区外の家族や、出張先でも受信可能！

【良くなる点】

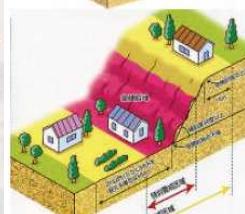
- これまでの電話連絡に比べて、圧倒的に迅速な伝達ができる。
- 必要な方(登録者)に、確実に伝達できる。
- 高齢者世帯等においても、地区外にいる家族から連絡・支援が受けられる。
- 夜間においても、エリアメールと異なり登録者のみの伝達なので、混乱を避けられる。

土砂災害ってどんな種類があるの？



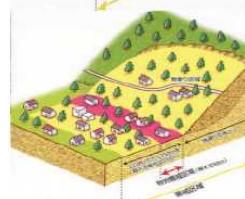
土石流

土石流は、山腹や渓流に堆積していた土石が長雨や集中豪雨によって、一気に下流へ押し流される現象



がけ崩れ
(急傾斜地の崩壊)

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちる現象



地すべり

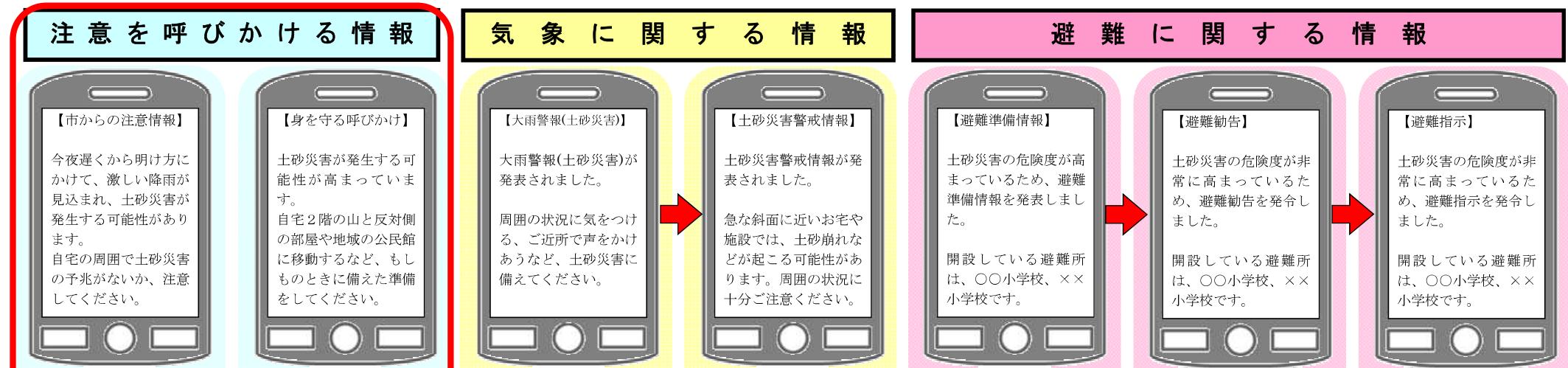
斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によって、斜面下方に移動する現象

【ながおか土砂災害Dメールの活用について】

1 土砂災害に関する用語

- 大雨警報（土砂災害） ⇒ 大雨などで土砂災害発生の恐れがあるときに気象台が発表する気象警報です。
- 土砂災害警戒情報 ⇒ 大雨などで土砂災害発生の危険度が非常に高まったとき、避難判断の参考となるよう、新潟県と気象台が共同で発表する情報。テレビなどの天気予報でもながれます。
- 土砂災害危険度マッシュ ⇒ 大雨警報（土砂災害）や土砂災害警戒情報とあわせて、長岡市内を5km四方で区切り、土砂災害の危険度が高い地域を段階的に表した図。気象庁や新潟県のホームページで見ることができます。
(<http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/sabou/index.html>)

2 ながおか土砂災害Dメールの配信内容（例）と意味



◆メール（長岡市が伝達する情報）のもつ意味

- | | | | | | | |
|---|---|--|---|---------------------------|---------------------------------|---|
| ● 今後激しい降雨が見込まれるときや、土砂災害の予兆が発見されたときなどに、事前に注意を呼びかけます。 | ● 今後の気象見込みなどから、土砂災害の危険が近づいていると思われるときに、事前に身を守る行動を呼びかけます。 | ● 大雨警報（土砂災害）の発表を受けて、特に危険度が高まりつつある地域の住民に事前の注意を呼びかけます。 | ● 土砂災害警戒情報が発表されたことから、特に危険度の高い地域の住民に、注意喚起のメールを配信します。 | ● 市が避難所を開設していることをお知らせします。 | ● 危険な状態ですので、市が開設した避難所に避難してください。 | ● 非常に危険な状態ですので、市が開設した避難所に、ただちに避難してください。 |
|---|---|--|---|---------------------------|---------------------------------|---|

◆Dメール受信後の行動（情報と地域の知恵を最大に活かす！）※ いざというときに備え、普段から地域での対応を話し合いましょう。

- | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|---|
| ● 夜に備えて、テレビやラジオなどで、今後の気象情報を気をつけ、自宅周辺の状況にも注意する。 | ● 自室内の安全な場所や、地域の公民館に一時的に移動するなど、地域で身を守る行動をとる。 | ● 今後の気象情報や市からの注意情報に気をつけ、自宅での安全な場所や、自宅以外への避難を考える。 | ● 自宅周辺の様子に注意し、自宅の2階（山と反対側）への移動や、地域の公民館など安全な場所へ自主避難を行う。 | ● 避難の準備を始め、地域の高齢者宅などに呼びかけをする。避難に時間がかかりそうな方は、避難を開始する。 | ● 避難所に避難する。ただし、周囲の状況によっては近くの公民館や自宅の2階（山と反対側）など、安全な場所へ移動する。 | ● ただちに、避難所に避難する。ただし、周囲の状況によっては近くの公民館や自宅の2階（山と反対側）など、安全な場所へ移動する。 |
|--|--|--|--|--|--|---|